消防年報

(平成30年版)



西臼杵広域行政事務組合消防本部

(令和元年刊行)

はじめに

この年報は、平成30年中における西臼杵広域行政事務組合消防本部(高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町)の消防現況と、消防業務に関する諸般の事項を収録し、消防 行政を広く一般に紹介するために編集したものです。

なお、この年報の統計資料は、暦年単位で表し、予算関係資料については会計年度で表し、それ以外のものについては各表に記載した年月で作成しています。また、西臼杵広域行政事務組合消防本部の業務が平成27年4月1日に運用を開始したことから、平成27年3月以前の統計は、構成各町役場総務課の消防担当係の資料を基に記載しています。

令和元年8月

西臼杵広域行政事務組合消防本部

目 次

	総説																						
1	位置と均	也勢					•		•		•		•	•					•	•	•		1
2	人口及び	が世帯数	Į					•	•		•			•				•		•		•	2
3	西臼杵河	肖防のあ	5Þ	み			•		•		•		•	•					•	•	•		2
4	歴代管理	里者・消	防	長			•	•			•			•				•		•	•	•	6
5	名称、克	近在地、	施	設			•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	6
	総 務																						
1	議会の総	且織	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	7
2	組合の組	且織	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	7
3	消防本部	幣、署♂)組	織			•	•	•		•		•	•			•	•	•	•	•	•	7
4	消防職員	員の配置	Ī		•	•	•	•	•		•		•	•			•	•	•	•	•	•	8
5	消防職員	員の年齢	<u>^</u> ∏		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	8
6	消防職員	員の教養	修	了	状	況			•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	9
7	消防職員	員の資格	ζ,	免	許	取	得	状	況					•				•		•		•	g
8	消防財政	女 -	•	•	•	•	•	•	•	٠	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1 C
	警防																						
1	消防車両	町の現況	5				•							•									1 1
2	特殊機構	成器具現	有	状	況									•									1 2
3	消防相2	1応援協	淀	の	状	況								•									1 3
4	緊急消傷	方援助隊	Ŕの	登	録	状	況							•									1 3
5	緊急消傷	方援助隊	Ŕの	備	品	_	覧							•									1 3
6	火災統訂	+ •												•									1 3
7	救急統訂	+ •												•									1 4
8	救助統言	+ •	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	1 5
	予 防																						
1	予防啓養																						1 6
2	予防查察																						1 6
3	台帳整例	请防火 亥	象	物	数									•									1 7
4	消防同意	意の状況	5											•									1 8
5	消防設值	帯等の検	査											•									1 8
6	各種予防	方関係届	出	の	状	況								•									1 9
7	り災証明	月書関係	その	申	請	及	び	発	行	状	況			•									1 9
8	危険物詞	拖設数																					1 9
9	危険物関	月係許認	引	等	の	状	況							•									2 0
10	危険物関	月係手数	料											•									2 0
11	消防広幸	报活動・	住	民	指	導	等	の	状	況			•	•					•	•	•	•	2 0
	消防	団																					
1	階級別河	-	数																				2 1
2	車両装																						2 2

総説

1 位置と地勢

西臼杵郡は、宮崎県の北西部に位置する3町(高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町)で構成され、九州山地のほぼ中央に位置しており、大分県、熊本県と境を接し、約9割を森林が占め急峻な地形をなしています。郡内には五ヶ瀬川、岩戸川、日之影川が流れ、この川沿いに大小の集落と狭小な耕地が点在し、農林業、畜産業、観光業を主要産業としています。年間の気温差が大きく、新緑や紅葉など変化に富んだ四季折々の景観は、訪れる人々の目を楽しませる観光資源となっています。

また、神話と伝説の町・高千穂町の高千穂夜神楽や、日之影町の豊かな森と清流を楽しむ森林セラピー、日本最南端のスキー場である五ヶ瀬町の五ヶ瀬ハイランドスキー場が有名な地域です。

平成27年12月には、険しい山間地を活かした伝統的な農業や林業の複合経営や伝統文化の神楽、自治活動が認められ、それらの保全と持続的な活動を目的にした「高千穂郷・椎葉山地域」が世界農業遺産に登録されました。

更に平成29年6月には、高千穂町・日之影町を含む宮崎・大分両県にまたがり、原生的な自然と景観美、希少動植物の宝庫として知られる祖母・傾・大崩(そぼ・かたむき・おおくえ)山系とその周辺地域が、生態系の保全と持続可能な利活用の調和(自然と人間社会の共生)を目的とした「祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク」として登録されました。



2 人口及び世帯数

(平成31年4月1日現在)

	高千穂町	日之影町	五ヶ瀬町	合 計
面 積 (km)	237.54	277.67	171.73	686.94
人口(人)	12,218	3,684	3,770	19672
人口密度(人/km)	51.44	13.27	21.95	28.64
世帯数(戸)	4,974	1,472	1,518	7964

3 西臼杵消防のあゆみ

平成20年12月 西臼杵消防常備化検討会及び作業部会発足

平成21年 1月 常備化へ向けて視察(愛知県、静岡県)

2月 常備化へ向けて視察 (大阪府、和歌山県)

4月 第1回常備化作業部会

第1回常備化検討会

11月 第2回常備化作業部会

平成22年 2月 常備化へ向けて視察(奈良県)

7月 第3回常備化作業部会

8月 第2回常備化検討会

10月 第1回常備化協議会

平成23年 2月 第2回常備化協議会

4月 第3回常備化協議会

8月 第4回常備化協議会

12月 第5回常備化協議会

平成24年 3月 第3回常備化検討会

4月 第6回常備化協議会

5月 常備化覚書調印式

6月 第7回常備化協議会

9月 第4回常備化作業部会

平成25年 1月 常備化へ向けて視察(大分県)

4月 西臼杵広域行政事務組合発足

西臼杵消防常備化準備室設置(高千穂町役場)

職員5名を採用し、7名(任用替職員含む)が消防学校初任科入校(高千穂町5名、日之影町1名、五ヶ瀬町1名)

総職員数(高千穂町10名、日之影町2名、五ヶ瀬町1名)

第1回常備化準備会(常備化準備室職員任命)

消防庁舎、デジタル無線実施設計入札

- 5月 第2回常備化準備会 常備化準備室に三星文男専門監就任
- 6月 常備化へ向けて視察(熊本県、高知県、県内消防本部) 消防学校(警防、特殊災害科)2名入校
- 7月 消防学校(救助科)2名入校 消防庁舎地質調査委託
- 8月 第3回常備化準備会 西臼杵地区広域消防常備化運営計画制定
- 9月 三町(副町長)延岡市へ職員派遣依頼 常備化準備会 第1回財政部会
- 10月 消防庁舎予定地造成工事開始 常備化準備会 第1回病院部会 常備化準備会 第2回財政部会
- 12月 消防学校(危険物科) 4名入校
- 平成26年 1月 初任科卒業生(5名)延岡市消防本部で実務研修 第4回常備化準備会 常備化準備会 第3回財政部会
 - 2月 常備化準備会 第1回消防部会 消防学校(火災調査科)5名入校
 - 3月 消防車両入札(消防ポンプ車他5台) 消防庁舎建築主体工事及び消防救急デジタル無線・消防指 令システム整備事業入札
 - 4月 消防長に三星文男氏就任 常備化準備室長に甲斐教也氏就任 常備化準備室を5名体制に増員 (高千穂町3名、日之影町1名、五ヶ瀬町1名) 職員12名を採用し、10名が消防学校初任科入校 (高千穂町2名、日之影町5名、五ヶ瀬町5名) 消防庁舎起工式 消防庁舎備品入札
 - 6月 常備化準備会 第2回消防部会を開催 第4回常備化準備会を開催
 - 8月 連絡車(軽乗用)を購入
 - 10月 常備化準備室専門監に佐藤修三氏就任 消防学校(救急科)9名入校 (高千穂町2名、日之影町3名、五ヶ瀬町4名)
 - 11月 消防学校(救助科)7名入校

(高千穂町4名、日之影町1名、五ヶ瀬町2名)

12月 水槽車、ポンプ車、救助工作車を購入

平成27年 1月 消防本部次長に佐藤修三氏就任 延岡市消防本部より職員2名の派遣を受け、開署に向けて 訓練、調査、研修を開始

- 2月 消防学校(予防査察科)に3名入校 高規格救急車を購入
- 3月 器材搬送車及び指揮車を購入 消防庁舎建設工事が完了 新庁舎にて業務を一部開始 消防救急デジタル無線、消防指令システム工事が完了
- 4月 西臼杵広域行政事務組合消防本部・消防署運用開始 職員36名(派遣職員2名含む) 西臼杵広域行政事務組合庁舎の落成式を開催 延岡市消防本部へ救急救命士1名(6ヶ月間)が出向 高規格救急車(2台)、軽救急車を高千穂町から譲渡 職員2名を採用し、1名が消防学校初任科に入校
- 6月 消防学校(警防特災科)に2名入校
- 10月 延岡市消防本部へ救急救命士1名(6ヶ月間)が出向
- 12月 消防学校(危険物科) 4名入校

平成28年 1月 消防学校(中級幹部科)に2名入校

- 2月 消防学校(火災調査科)に4名入校
- 4月 職員3名を採用し、1名が消防学校初任科に入校
- 6月 消防学校(警防特災科)に2名入校 消防学校(救助科)に3名入校
- 8月 宮崎県消防操法大会(審査員3名派遣)
- 10月 延岡市消防本部へ救急救命士1名(6ヶ月間)が出向

平成29年 1月 消防学校(中級幹部科)に4名入校

- 2月 消防学校(予防査察科)に4名入校
- 3月 延岡市消防本部職員2名派遣終了
- 4月 職員1名を採用し、消防学校初任科に入校 (職員数35名) 救急隊1隊を緊急消防援助隊に登録
- 6月 消防学校(救助科)に1名入校
- 7月 平成29年九州北部豪雨被災地(大分県中津市・日田市) に緊急消防援助隊として救急隊1隊(第1次・第2次、延べ 7人)を派遣

- 11月 平成29年度緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練に参加 (佐賀県武雄市 隊員4名 車両2台)
- 12月 平成29年度九州地区警防実務研修会(福岡市消防学校) に1名参加
- 平成30年 1月 消防学校(火災調査科)に2名入校 平成29年度九州地区予防実務研修会(福岡市消防学校) に1名参加
 - 2月 アステラス製薬株式会社から高規格救急車1台の寄贈を受け救急3号車を更新

平成29年度九州地区救急実務研修会(福岡市消防学校) に1名参加

消防学校(警防・特殊災害科)に1名入校

- 3月 消防学校(初級幹部科)に1名入校
- 4月 消防長に佐藤修三氏就任 職員3名を採用し、消防学校初任科に入校(職員数38名)
- 6月 消防学校(警防・特殊災害科)に2名入校 消防学校(救助科)に2名入校
- 8月 消防大学校(幹部科54期)に1名入校
- 10月 消防学校(救急科)に1名入校
- 11月 平成30年度緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練に参加 (鹿児島県東串良町 救急隊・支援隊各1隊 隊員4名)
- 12月 平成30年度九州地区警防実務研修会(福岡市消防学校) に1名参加
- 平成31年 1月 平成30年度九州地区予防実務研修会(福岡市消防学校) に1名参加

消防学校(中級幹部科)に2名入校

- 2月 消防学校(初級幹部科)に3名入校平成30年度九州地区大規模災害等対応実務研修(福岡市 消防学校)に1名参加
- 3月 消防学校(予防査察科)に3名入校
- 4月 消防長に日高一昭氏就任 職員2名採用(職員数38名) 高千穂町を会場として宮崎県消防長会春季総会及び宮崎県 消防職員意見発表会開催

4 歴代管理者・消防長

西臼杵広域行政事務組合管理者 ※組織改編以降

歴代	氏	名	就任	退任	備考
初代	内倉	信吾	平成 25 年 4 月 1 日	平成 31 年 1 月 18 日	高千穂町長
2代	甲斐	宗之	平成 31 年 1 月 19 日		同上

西臼杵広域行政事務組合消防本部消防長

歴代	氏 名	就 任	退任	備考
初代	三星 文男	平成 26 年 4 月 1 日	平成 30 年 3 月 31 日	前職:延岡市消防本部 消防長
2代	佐藤 修三	平成 30 年 4 月 1 日	平成 31 年 3 月 31 日	前職:東児湯消防組合 消防長
3代	日髙 一昭	平成 31 年 4 月 1 日		前職:宮崎市消防局 南消防署副署長

5 名称、所在地、施設

【名称】

西臼杵広域行政事務組合消防本部

【所在地】

〒882-1101

宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井1346-1

【施設】

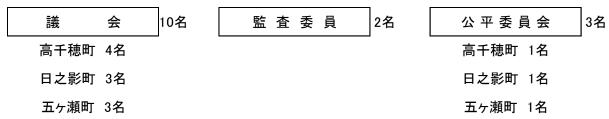
敷地面積 3,294.96㎡ 庁舎延床面積 1,366.8㎡

構造 S造2階建

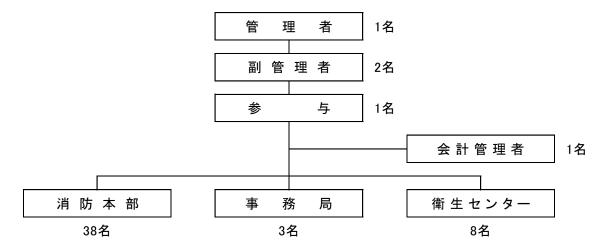


総務

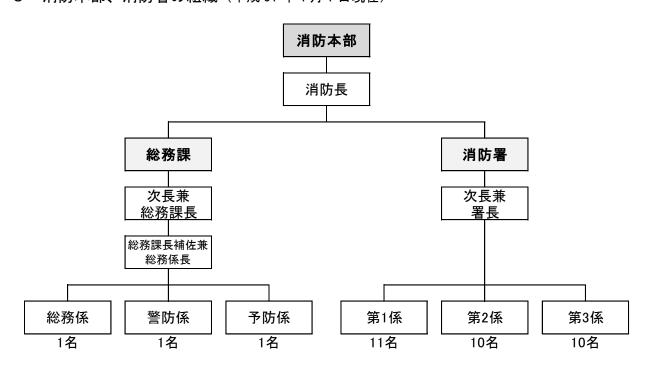
1 議会の組織(平成31年4月1日現在)



2 組合の組織(平成31年4月1日現在)



3 消防本部、消防署の組織(平成31年4月1日現在)



4 消防職員の配置

(平成31年4月1日現在)

所	属	階級	司令長	司令	司令補	士長	消防士	合 計	比率(%)
	;	消防長	1					1	2.6
	;	次 長		2				2	5.3
		総務課長		(1)				(1)	
川 消 防	総	総務課長補佐		1				1	2.6
消防本部	務	総務係				1		2	5.3
HIP	課	予防係			1			1	2.6
		警防係			1			1	2.6
	,	小 計	1	3	2	1		6	15.8
	1,1	暑長		(1)				(1)	
消		1 係			2	2	7	11	28.9
消 防 署		2 係			1	2	7	10	26.3
者	,	3 係			2	1	7	10	26.3
	,	小 計			5	5	21	32	84.2
	合	計	1	3	7	6	21	38	100.0
	比 率	5 (%)	2.6	7.9	18.4	15.8	55.3	100.0	100.0

^{※ ()}内は兼務を示す。

5 消防職員の年齢

(平成31年4月1日現在)

年齢	階級	司令長	司令	司令補	士長	消防士	合 計	比率(%)
•	~ 19 歳						0	0.0
20 歳	~ 24 歳					7	7	18.4
25 歳 🦩	~ 29 歳				2	6	8	21.1
30 歳	~ 34 歳				3	6	9	23.7
35 歳 🦩	~ 39 歳			2	1	2	5	13.2
40 歳	~ 44 歳			5			5	13.2
45 歳 ~	~ 49 歳		1				1	2.6
50 歳	~ 54 歳						0	0.0
55 歳	~	1	2				3	7.9
合	計	1	3	7	6	21	38	100

6 消防職員の教養修了状況

(平成31年4月1日現在)

区	分	年 度	27	28	29	30	合 計 (延べ人数)
	初	壬 科	1	1	1	3	6
		初 級			1	3	4
	幹部科	中 級	2	4		2	8
宮崎県消防学校		上級					0
県	警防•特	殊災害科	2	2	1	2	7
防	救 月	助 科		3	1	2	6
学校	危 険	物科	3				3
	火災:	周査科	3		2		5
	予防了	査 察 科		4		3	7
	救 急	急 科				1	1
	警	防			1	1	2
実 九 務 州	予	防			1	1	2
研地 修区	救	急			1		1
	大規模第	災害対応				1	1
消	防大	学 校				1	1

7 消防職員の資格、免許取得状況

(平成31年4月1日現在)

階級 資格名	司令長	司令	司令補	士長	消防士	合 計	比率(%)
大型 一種	1	2	7	6	17	33	86.8
小型移動式クレーン運転		1	7	4	16	28	73.7
玉 掛 け		1	7	4	20	32	84.2
酸素欠乏・硫化水素 危険 作業 主任者		1	7	4	17	29	76.3
無線従事者	1	2	3	2	5	13	34.2
救 急 救 命 士		1	3	2	9	15	39.5
危険物取扱者	1		1	1	3	6	15.8
消防設備士			3	1		4	10.5
小型船舶操縦士	1		1			2	5.3
ガ ス 溶 接			1			1	2.6
潜水士				1	1	2	5.3
予 防 査 察	1		3			4	10.5
予防技術者 危 険 物	1		1			2	5.3
消防設備	1		1			2	5.3

8 消防財政

(歳入予算) 単位:千円

款			節				平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	増 減 (元-30)
分担金及び負担金	消	防	費	分	担	睁	291,918	286,662	298,930	312,654	13,724
力担並及ひ負担。	事務	系組合	負担	金(;	消防	分)	4,425	24,812	24,607	22,074	-2,533
使用料及び手数料	消	防	手	į	数	料	100	100	100	101	1
財 産 収 フ	利	子 及	てび	配	当	睁	1	1	1	1	0
寄 附 釒	: -	般	寄	ı	附	金	1	1	1	1	0
繰 入 金	消防	施設等	等整值	⋕基3	金繰之	入金	1	1	1	1	0
繰 越 並	繰		越			金	1	1	1	1	0
	雑					入	10	10	10	10	0
諸 収 2	. ⊐ ≅	ュニ	ティー	-助	成事	業	0	0	0	0	0
	雇用	1保険	等作	人	負担	金	246	247	246	246	0
県 支 出 🕏	消	防費	!	補	助	金	0	0	0	0	0
	合	計					296,703	311,835	323,897	335,089	11,192

(歳出予算) 単位:千円

		目					節			平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	増 減 (元-30)
常	備	消	防	費	紣				料	104,754	107,588	114,805	118,825	4,020
					職	員	手	当	等	75,573	79,892	85,972	89,908	3,936
					共		済		費	44,234	43,597	46,455	49,398	2,943
					賃				金	1,664	1,689	1,714	1,739	25
					報		償		費	150	160	185	175	-10
					旅				費	2,506	2,464	2,649	1,765	-884
					需		用		費	10,298	10,332	9,150	9,000	-150
					役		務		費	3,361	3,738	3,252	2,886	-366
					委		託		料	2,553	2,571	2,826	2,462	-364
					使	用料	及び	賃(昔 料	2,496	2,562	3,116	5,095	1,979
					原	材		料	費	0	0	0	0	0
					備	品	購	入	費	0	0	0	50	50
					負:	担金、社	甫助及	び交	付金	17,703	1,746	2,476	1,654	-822
					小				計	265,292	256,339	272,600	282,957	10,357
消	防	施	設	費	需		用		費	3,059	3,014	3,276	4,400	1,124
					役		務		費	938	843	756	664	-92
					委		託		料	11,417	9,828	9,927	9,958	31
					エ	事	請	負	費	0	0	0	0	0
					備	品	購	入	費	650	953	550	600	50
					積		立		金	10,000	30,000	20,000	20,000	0
					公		課		費	275	71	321	53	-268
					小				計	26,339	44,709	34,830	35,675	845
		;	肖	防	뢀	合	計			291,631	301,048	307,430	318,632	11,202

警防

1 消防車両の現況

車両種別	車 種	年 式	定員	長さ(cm)	幅(cm)	備考
消防ポンプ車	日 野	平成26年	5	572	189	水 800 l
水槽車	日 野	平成26年	3	686	233	水 5,000 l
救助工作車(2型)	日 野	平成26年	6	783	230	
指揮広報車	トヨタ	平成27年	10	484	188	
資機材搬送車	三 菱	平成27年	3	469	169	
救急1号車	トヨタ	平成27年	7	565	189	
救急2号車	トヨタ	平成25年	7	562	189	高千穂町譲渡
救急3号車	トヨタ	平成30年	7	565	189	アステラス製薬寄贈
軽救急車	ホンダ	平成17年	3	339	147	高千穂町譲渡
指揮車	トヨタ	平成27年	5	448	174	
連絡車	ホンダ	平成26年	4	339	147	



2 特殊機械器具現有状況

区分	品 名	数量	区分	品 名	数量
	クアドラノズル	4		携帯警報器	15
警	ラインプロポーショナー	1	測	熱画像直視装置	1
防	ディスクストレーナー	2	定器	ガス測定器	5
用資	ウォーターチャージャー	1	具	北川式検知管	1
器	小型高圧送水装置(BPポンプ)	1		検電器	4
材	簡易水槽	1		自動式人工呼吸器(パラパック)	1
	背負式水のう(ジェットシューター)	15		AED	4
	三連はしご	2	救	自動式心マッサージ器(ルーカス)	1
	かぎ付はしご	2	急	傷病者観察用モニター	3
	マット型空気ジャッキー式	1	活	傷病者モニター兼除細動器(MRx)	2
	大型油圧式救助器具(ホルマトロ)	1	動用	スクープストレッチャー	4
救	充電式油圧救助器具	1	資	バックボードー式	3
	救助用縛帯	1	器	KED	1
助	サバイバースリング	1	材	ソフト担架(レスキューシート、布担架)	6
器	平担架	1		陰圧式固定具(バキュームスプリント)	2
	バスケット担架	1		骨盤固定具(T-POD)	3
具	スケッドストレッチャー	2	救	高度処置訓練用人形(セーブマン)	1
	救助用簡易起重機(アリゾナボーテックス)	1	急	蘇生訓練用人形(全身)	5
	可搬ウインチ(チルホール)	2	訓	蘇生訓練用人形(半身)	4
	ロープウインチ	1	練用	蘇生訓練用人形(ジュニア)	1
	救命索発射装置(レスキューショット)	1	資	蘇生訓練用人形(ベビー)	5
	エンジンカッター	1	器	AEDトレーナー	4
破	チェーンソー	2	材	静脈路確保モデル	1
壊	空気鋸(タイガーエアソー)	1	-JL	木づち	3
器	電動ハンマー	1	水	たこづち	2
具	削岩機	1	資	木杭	17
	携帯用コンクリート破壊器具	1	器材	土のう袋	600
	空気呼吸器(プレッシャデマンド型)	15	121	ブルーシート	25
	空気呼吸器用ボンベ	30		訓練用人形(コータロー)	2
保	送排風機	1		救命ボート(ゴム製、船外機なし)	1
安器	耐電衣一式	2	その	煙体験ハウス	1
具	ウエットスーツ	4	の 他	携帯用GPS(ガーミン)	2
	救命胴衣	5		車両移動器具一式(ゴージャッキ)	1
	防刃ベスト	3		バルーン照明器具	1

3 消防相互応援協定の状況

協定締結年月日	協定締結機関	協定締結の目的
平成27年 8月 1日	上益城消防組合消防本部(熊本県)	火災、救急、救助その他の
平成28年 3月 2日	阿蘇広域行政事務組合消防本部(熊本県)	び害の発生に際し、相互に
平成28年 3月 23日	豊後大野市消防本部(大分県)	応援して効率的な消防活動
平成28年 3月 24日	佐伯市消防本部(大分県)	を行い、被害を最小限度に防
平成28年 4月 1日	竹田市消防本部(大分県)	止する。

4 緊急消防援助隊の登録状況

登録年月日	登録部隊の種類	部隊数
平成29年 4月 1日	救急小隊	1

5 緊急消防援助隊の備品一覧

品 名	数 量	品 名	数 量
エアーテント(3m×4m×2m)一式	1	スポットクーラー	1
ポータブルヒーター	1	簡易トイレー式	1
発電機 100V-2.8kVA	1	テーブル	1
簡易ベッド	4	椅子	4
ベッド用マット	4	ランタン	1
寝袋	4	クーラーボックス 500	1

6 火災統計

発生件数 (平成 30 年中)



種別	町名	高千穂町	日之影町	五ヶ瀬町	管轄外	合 計
建	物	4	1			5
林	野	2				2
車	回	1		1		2
船	舶					0
航	空機					0
そ(の他	6	1	1		8
合	計	13	2	2	0	17

過去の発生件数

	高千穂町	日之影町	五ヶ瀬町	管 轄 外	合 計
平成 29 年	10	4	2	0	16
平成 28 年	7	3	2	0	12
平成 27年	3	5	3	0	11
平成 26 年	11	2	1	0	14
平成 25 年	4	1	1	0	6
平成 24 年	2	0	3	0	5

7 救急統計 発生件数 (平成 30 年中)

(単位:件)

月	町名	高千穂町	日之影町	五ヶ瀬町	管 轄 外	合 計
1	月	60	15	12		87
2	月	41	8	7		56
3	月	32	19	10		61
4	月	45	17	7		69
5	月	51	7	7		65
6	月	44	6	6		56
7	月	62	9	6		77
8	月	55	10	3		68
9	月	41	8	9		58
10	月	51	9	8		68
11	月	46	11	7		64
12	月	56	13	9		78
合	計	584	132	91	0	807

収容先市町別(管轄外含)搬送人員数(平成30年中)

(単位:人)

高千穂町	日之影町	五ヶ瀬町	延岡市	宮崎市	熊本市	その他
477	60	40	119		36	38

※「その他」にはドクターへリ宮崎への搬送24人を含む

事故種別出動件数 (平成30年中)

(単位:件)

町名種別	高千穂町	日之影町	五ヶ瀬町	管轄外	合 計
火 災					0
自然災害					0
水難事故					0
交 通 事 故	17	20	4		41
労 働 災 害	6	1	2		9
運 動 競 技	4		2		6
一般負傷	101	20	11		132
加害	1				1
自損行為	4	2	1		7
急 病	327	69	53		449
転 院 搬 送	122	19	15		156
医師 搬送					0
資機材搬送					0
その他	2	1	3		6
合 計	584	132	91	0	807

過去の発生件数

	高千穂町	日之影町	五ヶ瀬町	管 轄 外	合 計
平成 29 年	521	137	78	2	738
平成 28 年	594	121	80	1	796
平成 27年	536	144	82	1	763
平成 26 年	534	143	143	0	820
平成 25 年	558	149	148	0	855
平成 24 年	501	162	156	0	819

8 救助統計

事故種別出動件数 (平成30年中)



(単位:件)

町 名種 別	高千穂町	日之影町	五ヶ瀬町	管轄外	合 計
火 災	1				1
交 通 事 故	3	5		1	9
水難事故		1			1
自然災害					0
機械事故					0
建物事故					0
ガス及び酸欠					0
その他の事故					0
自損行為	3	4	1		8
合 計	7	10	1	1	19



大型油圧式救助器具を使った交通救助訓練

予 防

1 予防啓発行事

火災や災害が発生しやすい時季を迎えるに当たり、予防意識の更なる向上を図ることで、 火災や災害の発生を防止し、住民の生命、身体及び財産の損失を防ぐことを目的として、郡 民一人一人の防火意識を高めていただくため、毎年定期的に予防啓発運動を実施しています。

年間の主な予防啓発行事

(1) 春季火災予防運動

ア 統一標語 『火の用心 ことばを形に 習慣に』

イ 実施期間 平成30年3月1日(木)~3月7日(水)まで

(2) 危険物安全週間

ア 推進標語 『この一球 届け無事故へ みんなの願い』

イ 実施期間 平成30年6月3日(日)~6月9日(土) ※ 6月第2週

(3) 秋季火災予防運動

ア 統一標語 『忘れてない? サイフにスマホに 火の確認』

イ 実施期間 平成30年11月9日(金)~11月15日(木)

(4) 年末年始火災予防強化期間

平成30年12月20日(木)~平成31年1月10日(木)

(5) 文化財防火デー

平成31年1月26日(土)

(6) 山火事予防運動

ア 推進標語 『忘れない 豊かな森と 火の怖さ』

イ 実施期間 平成31年3月1日(金)~3月7日(木)

2 予防査察

予防査察は、予防行政の柱として、消防機関が消防法の規定により防火対象物に立ち入り その実態を把握するとともに、防火対象物の位置・構造・設備及び管理の状況を検査し、火 災予防上適切な指導を行って火災危険を排除しています。

查察実施状況 平成30年度查察件数 127件(特定防火対象物)

3 台帳整備防火対象物数 (消令別表第一による区分) (平成31年3月31日現在)

項区分		用 途	棟 数							
4 7百	1	劇場、映画館、演芸場、観覧場								
1項	П	公会堂、集会場								
	1	キャバレー、カフェー、ナイトクラブ等								
O.T.	П	遊技場、ダンスホール	3							
2項	/\	風俗営業等の業務を営む店舗、その他これらに類するもの								
	=	カラオケボックス等								
3項	1	待合、料理店等								
3頃	П	飲食店	123							
4項		百貨店、マーケット等	37							
CT石	1	旅館、ホテル、宿泊所等	108							
5項	П	寄宿舎、下宿、共同住宅	60							
	1	病院、診療所、助産所等	21							
6項	П	老人短期入所施設、養護老人ホーム等	13							
O垻	/\	老人デイサービスセンター、保育所等	27							
	_	幼稚園、特別支援学校	2							
7項		小学校、中学校、高等学校、大学等								
8項		図書館、博物館、美術館等								
9項	1	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場等								
3項	П	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	2							
10項		車両停車場、発着場等								
11項		神社、寺院、教会等	69							
12項	1	工場、作業場	95							
12块	П	映画スタジオ、テレビスタジオ								
13項	1	自動車車庫、駐車場	11							
10項	П	飛行機・回転翼航空機の格納庫								
14項		倉庫	27							
15項		前各項に該当しない事業場	294							
16項	1	複合用途防火対象物のうち、その一部が1項から4項まで、5項イ、 6項、9項イに掲げる防火対象物の用途に供されているもの	91							
		イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物	5							
16の2項	Į	地下街								
16の3項	Į	準地下街								
17項		重要文化財等	1							
18項		延長50m以上のアーケード								
		合 計	1,054							

● 棟数の各町内訳 高千穂町 628
日之影町 243
五ヶ瀬町 183
合 計 1,054

4 消防同意の状況

建築物の防火安全の確保を図るために、消防法第7条で建築物の新築及び増改築等を行う場合には 消防長又は消防署長の同意が必要となっています。 消防機関は、これに基づいて建築物の基本設計の段階から防火に関する審査及び指導を行っています。

(平成 30 年度/件)

	工事	種別		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
新			築		1	1	1	3	2	1		1				10
増			築								1	1				2
改			築													0
用	途	変	更									1				1
計	画	変	更													0
	合	計		0	1	1	1	3	2	1	1	3	0	0	0	13

5 消防用設備等の検査

学校・病院・百貨店等の関係者は、それぞれの用途、規模等に応じて消火設備、警報設備、 避難設備、消防用水及び消火活動上必要な施設に分類される消防用設備等を設置することが 消防法令で定められています。 設置に際しては、工事が完了した日から4日以内に消防長 又は消防署長に設置届を提出し、検査を受けなければなりません。なお、消防用設備等はい ついかなるときでも有効に機能しなければならないことから、定期的に点検を実施し、その 結果を消防長又は消防署長に報告することが義務づけられています。

(平成 30 年度/件)

	検 査 設	: 備 :	等		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
消	火			器			1					1			3	2	7
屋	内 消		火	栓													0
ス	プリン	ク	ラ	_												1	1
自	動火災	報	知	器	1		2		2			1			3	4	13
火	災通	報	装	置	1					1	1		2		2		7
非	常警	報	装	置											1		1
誘	導灯・記	秀導	標	識			1					1			2	2	6
パ	ッケージ	型消	肖火	器											1		1
パい	ッケージ型	! 自!	動消	火													0
	合	計			2	0	4	0	2	1	1	3	2	0	12	9	36

6 各種予防関係届出の状況

(平成 30 年度)

届 出 区 分	件数
防火対象物使用開始届出書	11
消防計画作成(変更)届出書	27
防火管理者選任(解任)届出書	29
防火対象物点検結果報告書	4
消防訓練報告書	84
工事整備対象設備等着工届出書	17
消防用設備等設置届出書	29
消防用設備等点検結果届出書	265
火を使用する設備等設置届出書	3
電気設備等設置届出書	27
火災と紛らわしい煙、火災を発するおそれのある行為の届出書	24
煙火打上げ(仕掛け)届出書	47
催物開始届出書	1
道路工事等届出書	154
露店等の開設届出書	6
圧縮アセチレンガス等の貯蔵(取扱)開始届出書	2
少量危険物・指定可燃物貯蔵(取扱)届出書	6

7 り災証明書関係の申請及び発行状況(平成30年度)

申請・・18件 発行・・18件

8 危険物施設数

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

	製 造 所 別								高千穂町	日之影町	五ヶ瀬町
製				造				所			
	屋	屋 内 貯 蔵			所						
貯	屋	外	タ	ン	ク	貯	蔵	所	2	1	2
! 只丁	屋	内	タ	ン	ク	貯	蔵	所	1		1
蔵	地	下	タ	ン	ク	貯	蔵	所	13	7	5
所	簡	易	タ	ン	ク	貯	蔵	所			
ולל	移	動	タ	ン	ク	貯	蔵	所	4	2	3
	屋		外	ļ	拧	蔵	5	所	1		
	屋	外	糸	`	油	取	扱	所	9	6	5
取	自	家	用	給	油	取	扱	所	3	4	1
扱	_		般	I	取	扨	Ż	所	5	4	4
1)X	第	1	種	販	売	取	扱	所			
所	第	2	種	販	売	取	扱	所			
	移		送	I	取	扨	Ż	所			
		2	<u> </u>		計				38	24	21

9 危険物関係許認可等の状況(平成30年度)

完成検査・・・・7件 変更許可・・・6件 予防規定認可・・・0件 仮使用承認・・・・5件 計 18件



10 危険物関係手数料

(平成 30 年度)

区 分	申 請 別	手数料収額(円)
	設置許可申請	13,000
	変更許可申請	156,000
手 数 料 内 訳	完成検査申請	84,500
	完成検査前検査申請	33,000
	仮貯蔵・仮取扱・仮使用	27,000
合	313,500	

11 消防広報活動・住民指導等の状況 (消防業務全般) (平成30年度)

種別	回 数	備考
消防訓練指導等	51	46施設、3,407人
消防署見学	12	12団体、369人
職場体験学習	4	4校、10人
救命講習	73	70団体、2,631人
各町広報誌による広報	12	火災予防運動、危険物安全週間ほか
各町防災無線による広報	12	同上

消防団

1 階級別消防団員数

(平成31年4月1日現在)

町名 階級	高千穂町	日之影町	五ヶ瀬町
団 長	1	1	1
副団長	2	2	2
分 団 長	18	8	10
副分団長	10	4	0
部 長	34	18	13
団 員	453	203	186
合 計	518	236	212



消防操法大会 (小型ポンプ積載車)

2 車両装備と人員

高千穂町消防団

(平成31年4月1日現在)

同一個川				(平成31年4					
分団名	分団員数	部 名	団員数	主な保有資機材	管轄地域				
機動分団	27	第 1 部	13	ポンプ車 1	全域				
1水 利 刀 旦	21	第 2 部	12	ポンプ車 1	工 %				
		第 1 部	37	積載車 3					
第1分団	79	第 2 部	12	積載車 1	三田井				
	/8	第 3 部	23	積載車 2	_ — Ш Т				
		第 4 部	5	積載車 1					
		第 1 部	19	積載車 1					
第2分団	62	第 2 部	17	積載車 2	押方				
カムリ 凹	02	第 3 部	8	積載車 2]T /J				
		第 4 部	16	積載車 2					
第3分団	21	第 1 部	19	積載車 3	向 山				
あら万凹	31	第 2 部	10	積載車3、小型ポンプ1	ıя н				
		機動部	14	ポンプ車 1					
第4分団	70	第 1 部	25	積載車 2					
第4万凹		第 2 部	10	積載車 2					
		第 3 部	19	積載車 2	岩 戸				
		第 1 部	33	積載車 2 、小型ポンプ 1	上岩戸				
第 5 八 団	80	第 2 部	20	積載車 2					
第5分団		第 3 部	9	積載車 1 、小型ポンプ 1					
		第 4 部	15	積載車 1					
第64日	0.1	第 1 部	13	ポンプ車 1 、積載車 1 、小型ポンプ 1					
第6分団	31	第 2 部	16	積載車 2	田原				
		第 1 部	18	積載車 2	河内				
第7分団	44	第 2 部	15	積載車 2	五ヶ所				
		第 3 部	9	積載車 1					
		第 1 部	15	ポンプ車 1					
第8分団	41	第 2 部	16	積載車 1 、小型ポンプ 1					
		第 3 部	8	積載車 1	上野				
第9分団		第 1 部	11	積載車 1	下 野				
	38	38	38	38	38	38 第 2 部		積載車 1	
		第 3 部	12	積載車 1 、小型ポンプ 1					
± +p		幹 部	11						
本 部	15	女性団員	4						
合 計	518								

(平成31年4月1日現在)

日之影町消防団

分 団 名	分団員数	部 名	団員数	主な保有資機材	管轄地域
第1分団		機動部	13	ポンプ車 1 、小型ポンプ 1	全 域
		1 部	10	積載車 1 、小型ポンプ 3	七折
第1分団	64	2 部	8	積載車 1 、小型ポンプ 4	
		3 部	13	積載車 1 、小型ポンプ 2	岩井川
		4 部	18	積載車1、小型ポンプ1	
		部	8	ポンプ車 1 、小型ポンプ 2	七折·分城
第2分団		6 部	8	積載車 1 、小型ポンプ 2	七折
	43	7 部	8	積載車 1 、小型ポンプ3	分 城
		8 部	8	積載車1、小型ポンプ1	七折
		9 部	9	積載車 1 、小型ポンプ 2	分 城
		1 0 部	15	積載車 1 、小型ポンプ 4	七折
		1 1 部	6	積載車 1 、小型ポンプ 2	L 171
第3分団	74	1 2 部	19	積載車1、小型ポンプ1	全 域
		1 3 部	27	積載車1、小型ポンプ6	全 域
		1 4 部	5	積載車 (軽トラック) 1 、小型ポンプ 3	見立
		1 6 部	12	積載車 1 、小型ポンプ 1	七折
第4分団	43	1 7 部	9	積載車 1 、小型ポンプ 3	岩井川
		18部	20	積載車 1 、小型ポンプ 2	七折
本部	12	幹 部	8		
小 叫	12	女性団員	4		
合 計	236				

五ヶ瀬町消防団

(平成31年4月1日現在)

分 団 名	分団員数	部 名	団員数	主な保有資機材	管轄地域	
第1分団	54	第 1 部	24	積載車 1 、小型ポンプ3		
第 1万凹	34	第 2 部	29	積載車 1 、小型ポンプ 2		
第2分団	28	第 1 部	14	積載車 1 、小型ポンプ 1	三ヶ所	
第 2 万 凹	28	第 2 部	13	積載車 1 、小型ポンプ 1	ニケカ	
第3分団	29	第 1 部	16	ポンプ車 1 、積載車 1 、小型ポンプ3		
あるカ 凹	29	第 2 部	12	積載車 1 、小型ポンプ 1		
第4分団	20	38	第 1 部	21	積載車 1 、小型ポンプ 2	桑野内
第4万凹	38	第 2 部	16	積載車 2	采到 内	
第5分団	29	第 1 部	8	積載車 2	鞍 岡	
あ 5 万 凹	29	第 2 部	20	ポンプ車 1 、積載車 2	牧叫	
第6分団	20	第 1 部	13	積載車 1 、小型ポンプ 1	三ヶ所	
第 6 万 四	20	第 2 部	6	積載車 3	鞍 岡	
本 部	1.4	幹 部	7			
	14	女性団員	7			
合 計	212					